



◎四國道路改良講演會の開催

本會が昭和六年度の事業の一として目論見たる四國に於ける道路改良講演會は、滿洲、上海兩事件の勃發やら經濟界の浮動等時局多端の爲延期中の處、之等事件の成行も略々見透が付き經濟界も一安定を見たので、愈々四月十二日から十九日迄四國各市に於て開催した。講師は水野會長、内田副會長、牧理事、村井評議員、佐藤、藤井兩内務技師であつて、之に活動寫眞班を配し、各地交互に熱辯を振ふ所があつた。

初日は四月十二日(火曜日)午後七時二十分より丸龜市公會堂に於て開會。當日は朝來より生憎の春雨で氣溫低下し

路面の泥濘も多いので聴衆の入場如何を氣づかはれたが、開演時直前より降雨止みたと、縣、市當局の好妙なる宣傳と極めて熱心なる市民とは吾等の心配を裏切り、入場者堵を爲して立錐の餘地なき盛況であつた。講師及演題は左の如くである。

開會の辭

香川縣知事 伊藤 昌庸

挨拶

會長貴族院議員 水野 鍊太郎  
法學博士

近代道路の特異性

理事 牧 彦 七  
工學博士

現代道路の使命に就て

内務技師 藤 井 眞透  
工學博士

閉會の辭

丸龜市長 高 木 季熊

講演は約二時間であつて、引續き活動寫眞班の映寫あり聴講者九百五十名午後十二時盛會裡に散會した。

第二日は四月十三日(水曜日)午後六時半より高松市讃岐

會館に於て開催されたが、當日は前日に引換へ好晴なりしと、市民の自覺とに依り普通は五百名を以て定員とする同

會館も忽ち八百名の熱心なる聴衆を以て滿された。

に於て開催。定刻既に聴講者六百名を越へ、午後九時講演

開會の辭

香川縣知事 伊藤 昌庸

挨拶

會長貴族院議員  
法學博士

水野鍊太郎

交通網としての道路

理事  
工學博士

牧 彦七

道路改良の方針に就て

内務技師  
工學博士

藤井 眞透

閉會の辭

高松市長 松原權四郎

講演時間約二時間に引續き活動寫

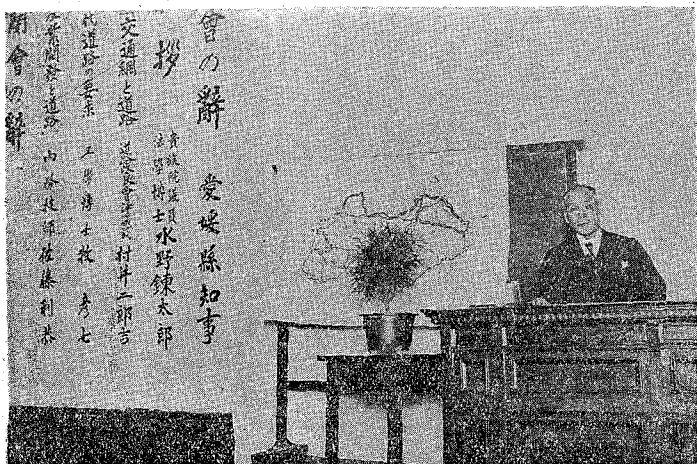
眞を映寫し、十時半盛會裡に終了

た。

◇ ◇

第三日は四月十四日(木曜日)午後七時より今治市公會堂

後七時三十分より松山市縣公會堂に於て開催したが、當日



(堂會公縣市山松) 吼子獅の長會野水

會を閉ぢ引續き活動映寫あり十時半非常なる盛會裡に散會した。

講師及演題は左の如くである。

閉會の辭

愛媛縣知事代理  
内務部長

田中 修

挨拶

會長貴族院議員  
法學博士

水野鍊太郎

道路と國民生活

理事  
工學博士

牧 彦七

道路は文化産業の父なり

内務技師  
工學博士

藤井 眞透

閉會の辭

愛媛縣土木課長 青木 治助

◇ ◇

第四日は四月十五日(金曜日)午

は村井評議員新に参加せられ、尙藤井内務技師に代つて佐藤内務技師の來松があつた。早朝より降雨ありたるも正午頃より快晴となり聴衆八百五十名を算へ九時閉會。引續き映畫を公開し十時過ぎ散會した。

講師及演題は左の如くである。

開會の辭 愛媛縣知事 久米 成夫

挨拶 會長貴族院議員 水野 鍊太郎  
法學博士

四國交通網と道路 評議員 村井二郎吉

近代道路の要求 理事 牧 彦七  
工學博士

産業開發と道路 内務技師 佐藤 利恭

閉會の辭 愛媛縣土木課長 青木 治助

◇

第五日は四月十六日(土曜日)午後七時より宇和島市公會堂に於て開催した。聴講者七百五十名、講演時間二時間に引續き活動寫眞を映寫し十一時盛會裡に散會した。

講師及演題は左の如くである。

開會の辭 愛媛縣知事代理 田中 修  
内務部長

鐵道と自動車 評議員 村井二郎吉

我國道路の過現未 理事 牧 彦七  
工學博士

道路は文化の母なり 内務技師 佐藤 利恭

閉會の辭 愛媛縣土木課長 青木 治助

◇

第六日は四月十八日(月曜日)午後七時より高知市役所樓上に於て開催。當日雨天なりしも夕刻より霽れ聴講者四百五十名、講演時間二時間、引續き活動寫眞の映寫を爲して午後十一時半満場拍手裡に散會した。

講師及演題は左の如くである。

開會の辭 高知縣知事 坂間 棟治

自動車と道路 評議員 村井二郎吉

近代道路とは何ぞ 理事 牧 彦七  
工學博士

國を治むる者は 内務技師 佐藤 利恭  
先づ道路を開け

閉會の辭 高知縣土木課長 河合 清

◇

最終日たる第七日は四月十九日(火曜日)午後七時二十分

より徳島市縣公會堂に於て開會。當日は快晴なりしと、縣當局一流の宣傳方法の良好なりしに加へ、新に此の朝東京より來徳せられたる内田副會長の參加ありて彌が上にも講演會氣分を濃厚にした。而て市民の熱心は本公會堂開設以來未曾有の千五百名の聴衆を數へ、頗る盛會裡に午後十一時過ぎ散會した。

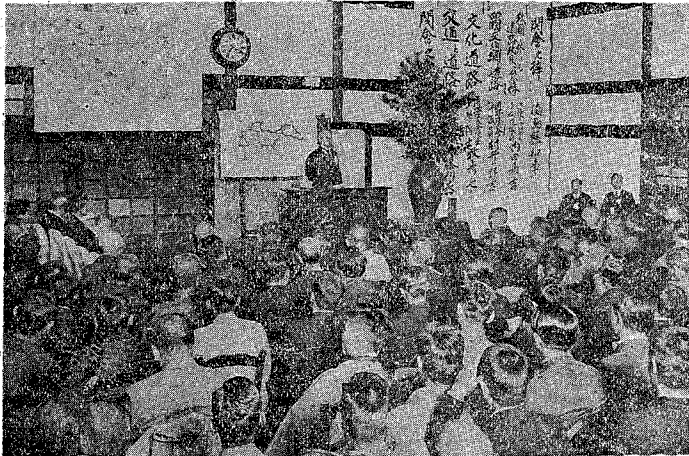
講師及演題は左の如くである。  
開會の辭

徳島縣知事 落合慶四郎

我國に於ける道路改良の急務

副會長 内田 嘉吉  
貴族院議員

四國交通網と道路 評議員 村井二郎吉 のである。



(堂會公縣市島徳) 長會副田内の上壇

文化道路

理學博士 牧 彦七

交通と道路

内務技師 佐藤 利恭

閉會の辭

徳島縣 内務部長 加賀谷朝藏

以上の如く各地とも豫期以上の成績を以て無事終了したのであるが、之れ偏に所轄縣、市當局、商工會議所、各種交通團體、新聞社等各位の熱烈なる御盡力に依ること大なるは言を俟たない所であつて、深く感謝の意を表する次第である。と同時に今回の企劃の結果に付ては本會の深く期待する所あるも